

## 単純指定ごみ袋デザイン等の決定および地域説明会の進捗状況について

令和9年3月に本格導入予定の指定ごみ袋のデザイン等および地域説明会の進捗状況を報告します。

### 1 単純指定ごみ袋デザイン

令和7年7月15日～8月15日に実施したアンケートの結果、単純指定ごみ袋のデザイン等は以下の通りです。



平袋(45L)

U型(45L)

### 単純指定ごみ袋概要(もやすごみ)

袋の色	ミントグリーン 半透明（内容物が識別可能な透明度を有すること）
文字色	濃紺色
容量	15L、30L、45L
形状	平袋またはU型(ペロ付き)
厚さ	高密度:0.015 mm以上 低密度:0.025 mm以上

※視覚障害者が識別しやすくするため、外袋の中央下部に直径5mm以上のパンチ穴を1か所開ける

#### 【参考】単純指定ごみ袋デザインアンケート結果抜粋

応募総数:4,542名(指定ごみ袋プレゼントキャンペーン申込者3,761名)

名称:もやすごみ(52%) 袋の色:ミントグリーン(48%) デザイン:明石の名所(34%)

### 2 分別名称の変更について

令和8年4月1日より、ごみ分別名称を以下の通り変更します。

現行	燃やせるごみ	燃やせないごみ	資源ごみ	粗大ごみ	紙類・布類
変更後	もやすごみ	もえないごみ	缶・びん・ペットボトル	粗大ごみ	紙類・布類

### 3 地域説明会の進捗状況について

#### (1) 地域説明会 進捗状況

実施内容	実施期間	実施回数	参加人数
A 日程（まち協役員等向け説明会）	令和7年7月18日～9月25日	29	650
B 日程（一般市民向け説明会）	令和7年9月13日～	25	567
C 日程（個別説明会）	令和7年8月31日～	8	176
計	—	62	1,393

令和7年12月1日時点

#### (2) 地域説明会での主なご意見と市の回答

	ご意見	市の回答
①	単純指定ごみ袋以外の袋でごみを出した場合はどうするのか。	令和9年3月の本格導入後は、指定ごみ袋以外の袋で出されたごみは啓発シールを貼り、一定期間残置します。常習的な場合など必要に応じて排出者を調査し、直接指導を行うことを予定しています。
②	単純指定ごみ袋の販売価格はどうなるのか。	単純指定ごみ袋は、市が規格やデザインを指定するだけで、ごみ処理料金を上乗せしないため、市場価格となり、厚さや形状等により異なりますが、現在使用されているごみ袋と同等程度の価格となる見込みです。
③	単純指定ごみ袋の販売開始日、販売場所はどうなるのか。	令和8年9月頃から、スーパーマーケット、ホームセンター、ドラッグストア等で販売が開始され、徐々に店頭に並ぶものと考えています。
④	最終処分場が一杯になったらどうするのか。	明石市では新たな最終処分場の確保が難しいため、神戸沖埋立処分場（大阪湾フェニックス計画）に有料で埋立処分することとなります。
⑤	単純指定ごみ袋導入による、ごみ減量効果はあるのか。	単に単純指定ごみ袋を導入するだけでごみ減量効果が発揮されるものではなく、導入に合わせて正しい分別方法やごみの排出ルールの周知徹底・意識啓発を図ることで、ごみの減量化が進みます。そのため、市では地域説明会の開催や広報発信の強化に取り組んでいます。
⑥	自治会未加入世帯への周知はどうするのか。	ホームページ、市広報誌、ステーション看板での啓発のほか、チラシの全戸配布などの方法も検討しています。

### 4 スケジュール案

令和7年11月

環境審議会 報告

令和7年12月

12月議会 生活文化常任委員会報告

令和8年1月

指定ごみ袋製造等にかかる製造業者からの申請受付開始

令和8年9月

指定ごみ袋移行期間(6ヶ月)

～令和9年2月

令和9年3月～

指定ごみ袋本格導入